令和4(2022)年度		年間授業計画		
教科・科目	芸術	音楽Ⅱ	2 単位	
対象学年・組	2年生		必修選択	
教科書 (出版社)	MOUSAⅡ(教育出版社)		音楽通論	
学習目標	1. ハーモニーやリズムを合わせて、合唱できるようになる。 2. 1年次で学習したことを元に、ピアノとギターでアンサンブルできるようになる。 3. 生徒の芸術に対する理解を深め、文化・芸術を愛好する態度を養う。 4. 楽曲構成を理解し、自作曲を完成させ演奏する。			
学期	予定 時数	単元	指導内容	具体的な指導目標
1	前半	12 歌唱 器楽 楽典	歌唱曲①～③ 演奏楽器の確定 基礎形式の理解	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味を理解して、言葉を大切に歌唱することができる。 各自、演奏実技楽器の確定。 楽曲の仕組みを理解することができる。
	後半	12 歌唱 楽典 鑑賞	歌唱曲④～⑤ 伴奏法 12音技法	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の背景を理解し、思いを込めて歌唱することができる。 旋律と伴奏の役割の理解。 無調音楽の理解。
2	前半	14 合唱 器楽 楽典	各クラス任意の合唱曲 ギターとピアノの合奏 非和声の理解	<ul style="list-style-type: none"> ハーモニーを意識して歌唱することができる。 楽器の特性を生かして、合奏することができる。 旋律における非和声音効果理解。
	後半	14 合唱 器楽 鑑賞	各クラス任意の一曲 ギターとピアノの合奏 現代日本の作曲家作品	<ul style="list-style-type: none"> グループごとにお互いの演奏を聴き合って、評価することができる。 楽器の特性を生かして、アンサンブルすることができる。 日本の現代作曲家の作曲技法の理解を深める。
3	18	器楽 楽典	器楽アンサンブル 8小節の楽曲の創作。	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに楽器の編成を工夫して演奏することができる。 8小節の楽曲の旋律創作と伴奏付け。
評価の観点 (評価基準)	主体的な授業態度で、音楽の特徴を理解することができるか。			
評価の方法	実技試験、提出物、小テスト、授業態度			
学習の手引き	実技教科ですので、活動する時間が多くなってきます。 授業への出席や授業態度等、意欲的に活動に参加し、音楽の理解を深めましょう。			
授業担当者	沖田 大介			